

9月定例会 平成30年度決算を認定 一般会計補正予算など22議案可決

令和元年9月定例会は、9月5日から9月24日までの20日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事2件、専決1件、平成30年度各会計決算の認定2件、条例等11件、令和元年度各会計補正予算6件の計22件でした。

定例会初日、第53号議案から第55号議案が提案され、採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

2日目、第56号議案及び第57号議案の質疑が行われ、決算審査特別委員会に審査が付託されました。

3日目、第58号議案から第74号議案の質疑が行われ、条例3議案は総務産業建設常任委員会に、予算6議案は予算審査特別委員会にそれぞれ審査が付託され、その他の議案は、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、9月19日と20日の2日間で、14名の議員が質問を行いました。

定例会最終日の本会議において、各委員長報告を行なった後、第56号議案及び第57号議案については、反対及び賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で認定され、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎損害賠償に関する和解について

東京電力福島第一原子力発電所事故により生じた事故被害対策経費のうち、東京電力ホールディングス株式会社が

賠償にに応じていないものについては、第425回市議会定例会

で議決を得て原子力損害賠償紛争解決センターへ和解仲介の申立てを行なっていました。同センターより和解案の提示があったことからこれを受諾し、

和解するため、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求めるものです。

○和解金額

1千367万1千円

就任のあいさつ



議長

小川 正人

副議長

澁谷 政義

市民の皆さまには、日頃、市議会に対し、格別なるご支援をいただいておりますこと、心より厚く感謝申し上げます。

第436回市議会臨時会において、議長、副議長の要職をつとめさせていただくことになりました。身に余る光栄と同時に責任の重大さに身が引き締まる思いであります。

私どもはその責務を果たすべく「白石市議会基本条例」に基づいた議会活動を推進し、議員一人一人が最大限に能力を発揮できるよう努めてまいります。

また、行政へのチェック機能を怠ることなく、二元代表制の一翼を担う議会としての資質向上を図り、諸課題に対する審議・提言に取り組んでまいります。

さらに、本市の第5次白石市総合計画も9年目の半ばを迎え、現在、第6次白石市総合計画の策定が進められておりますことから、市当局と連携を図り、市民生活の安定と福祉の向上を図るべく提言を行なってまいります。

市民の皆さまの二層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。